

VALUE YOU UP!!
System TALKS Inc.

マルチメディア・ポータブル・HDDプレイヤー
MOVIE VISION
ムービービジョン

製品マニュアル

Build: 031124

第1章 はじめに.....	3
1.1 付属品の確認.....	3
1.2 本体各部の説明.....	3
1.3 ハードディスクの取り付け.....	4
事前準備.....	4
取り付け方法.....	4
1.4 リモコンの電池の取り付け.....	4
第2章 TV と接続して使用する.....	5
2.1 TV に接続する.....	5
2.2 TV と接続した場合の操作方法.....	5
2.2.1 オーディオファイル、ビデオファイルの再生方法.....	5
2.2.2 静止画ファイルの再生方法.....	5
2.3 リモコンの機能と操作方法.....	7
2.4 本体のボタンの説明.....	9
第3章 パソコンと接続して使用する.....	11
3.1 Windows Me、2000、XP との接続.....	11
3.2 Windows 98 との接続.....	11
3.3 Macintosh (MacOS X) との接続.....	12
3.4 CF カードの取り出し、ハードディスクの取り外し操作.....	12
Windows.....	12
Macintosh.....	12
第4章.....	13
4.1 追記.....	13

第1章 はじめに

1.1 付属品の確認

パッケージの内容物を確認ください。

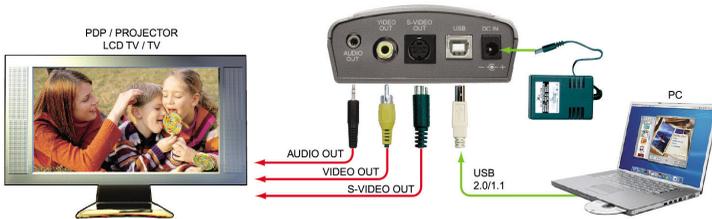


- ①本体 ②リモコン ③ACアダプタ(実際とは形状が異なります) ④USBケーブル
- ⑤S-VIDEOケーブル ⑥VIDEOケーブル ⑦AUDIOケーブル ⑧マニュアル
- ⑨製品保証書 ⑩電池(リモコン試験用)

その他: ハードディスクケース取り付け用ネジ2個、ハードディスク固定用ネジ4個、
ゴム足4個

1.2 本体各部の説明

■本体背面



- DC IN : 付属ACアダプタ入力
- S-VIDEO OUT : S端子映像出力
- AUDIO OUT : 音声出力(ステレオミニジャック)
- USB IN : USBポート(パソコン接続用)
- VIDEO OUT : コンポジット映像出力

■本体左面

- POWER : 主電源スイッチ
- NTSC/PAL : 映像方式の切り替え

■本体前面

コンパクトフラッシュ(CF)カードスロット

リモコンセンサー : リモコン受信部



■本体底面

2.5HDD(ハードディスク)取り付けスペース

1.3 ハードディスクの取り付け

事前準備

本製品に新しい 2.5 インチハードディスクを取り付ける場合、事前にフォーマットが必要です。第 3 章をお読みください。

取り付け方法

1. 本体裏にあるハードディスク収納部のカバーをあけます。本体裏から右の写真の向きで見て、下側にある爪を上向きに押しながらカバーを引きあけます。
2. ハードディスク接続用のケーブルを引き出し、ハードディスクに接続します。ケーブルには向きがあります。ハードディスク用コネクタの1番ピンのほうにケーブルの赤い側が来るように接続してください。1番ピンの位置につきましてはハードディスク上の印刷またはハードディスクに付属のマニュアルをご参照ください。
3. ハードディスクを収納します。右の写真の向きで見て、ハードディスクにコネクタを接続した部分を軸にハードディスクを手前に倒し、基板面が手前になるように収納します。
4. カバーを元通りに閉めてください。
5. カバーには6箇所ネジ穴がありますが、このうち比較的大きいネジ穴を通してハードディスクのネジ穴が見えるはずですが、ここをハードディスク固定用ネジ(先端の平らなネジ)で締めてください。
6. カバーの残り2箇所のネジ穴をケース取り外し用ネジ(先端のとがったネジ)2本で固定します。
7. ハードディスク固定用ネジ(4箇所)の上にゴム足を取り付けます。



1.4 リモコンの電池の取り付け

1. リモコン下部にあるカバーを外します。
2. カバーにプラスと書かれている方に合わせ電池のプラスを上面して置いてください。
3. しっかりとカバーを差し込んでください。

第2章 TVと接続して使用する

2.1 TVに接続する

1. 本製品をビデオケーブルまたはS端子ケーブルでTVに接続します。
2. 本製品に音声ケーブルを接続しTVに接続します。
3. ACアダプタを接続します。
4. NTSC/PALの切り替えスイッチがNTSCになっていること確認し接続します。
5. TVの電源を入れます。
6. 接続したテレビのビデオ入力切替を本製品を接続した外部入力端子(ビデオ1など)に合わせて下さい。
7. 本体側面の主電源スイッチをONにします。必ずTVの電源を入れた後で、本製品の電源を入れてください。
8. TVにファイルリスト(CFカードやハードディスク上のファイルやフォルダの一覧の画面)が表示されます。リモコンや本体のボタンで操作してください。

2.2 TVと接続した場合の操作方法

ここでは一般的な操作方法を説明します。リモコンのボタンを使用することで、ほかにもいろいろな操作が可能です。詳しくは2.3「リモコンの機能と操作方法」をご参照ください。

2.2.1 オーディオファイル、ビデオファイルの再生方法

ファイルリストの画面で、本体またはリモコンの方向ボタンを使って、ファイルを選択します。再生したいファイルを選択した状態で、本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押すと、選択したファイルが再生されます。再生を中止する場合は本体またはリモコンのSTOPボタンを押してください。

フォルダの中にあるファイルを再生したい場合、ファイルリストの画面で、本体またはリモコンの方向ボタンを使って、フォルダを選択して本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押すと、そのフォルダの中のファイルやフォルダが表示されます。元のフォルダに戻りたい場合は、リスト右側の一番目にある「・・」(または「ROOT」)という名前のフォルダを選択してENTERまたはPLAYボタンを押してください。再生したいファイルを選択して、本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押してください。

CFカードが挿入されているときに、本体またはリモコンのGOTOボタンを押すと、画面にCFカードの内容が表示されている場合はハードディスクの内容が表示され、画面にハードディスクの内容が表示されている場合はCFカードの内容が表示されます。また、ハードディスクに複数のパーティションが作成されている場合は、GOTOボタンで表示されているパーティションを切り替えることができます。

2.2.2 静止画ファイルの再生方法

静止画の場合も、オーディオファイル、ビデオファイルと操作方法は同じです。静止画ファイルは通常、同一フォルダ内の静止画ファイルが順次自動的に切り替わって表示されます。(このような再生方法をスライドショーといいます。)設定を変更することで、静止画を表示して

いる間に音楽を再生したり、1枚のファイルを表示したままにしたりすることができます。

●1枚の静止画を表示したままにする方法

画面にファイルリストが表示された状態(静止画の再生を行う前の状態)で、リモコンのS-TIMEのボタンを複数回押します。画面左上に「SLIDE SHOW OFF」と表示されたら押すのをやめてください。通常の手順で、表示したいファイルを選択して本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押してください。

●静止画を表示している間に音楽を再生する方法。(静止画とオーディオファイルを同時に再生する方法)

以下の3つのモードが選択できます。

- ① MODE1: 静止画は一定間隔で切り替わり、オーディオファイルは順番に再生されるモードです。

静止画ファイルとオーディオファイルは同じフォルダにある必要がありますので、事前にパソコンなどで同時に再生したい静止画のファイルとオーディオのファイルと同じフォルダにコピーしておいてください。

本機をTVに接続し、画面にファイルリストが表示された状態(静止画の再生を行う前の状態)で、リモコンのS-MUSICのボタン1回押します。画面左上に「MUSIC SLIDE SHOW MODE1」と表示されます。通常の手順で、表示したい静止画のファイルを選択して本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押してください。

- ② MODE2: 静止画は一定間隔で切り替わり、オーディオファイルは1つのファイルが繰り返し再生されるモードです。このモードでは、静止画ファイルとオーディオファイルは同じフォルダにある必要はありません。

本機をTVに接続し、画面にファイルリストが表示された状態で、オーディオファイルのあるフォルダを選択し、本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押してください。リモコンのS-MUSICのボタン2回押します。画面左上に「MUSIC SLIDE SHOW MODE2」と表示されます。再生したいオーディオファイルを選択してリモコンのAPOINTボタンを押します。通常の手順で表示したい静止画のファイルを選択し、本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押してください。

- ③ MODE3: オーディオファイルが次の曲に変わると、静止画も次の静止画に切り替わるモードです。

静止画ファイルとオーディオファイルは同じフォルダにある必要がありますので、事前にパソコンなどで同時に再生したい静止画のファイルとオーディオのファイルと同じフォルダにコピーしておいてください。

画面にファイルリストが表示された状態(静止画の再生を行う前の状態)で、リモコンのS-MUSICのボタン3回押します。画面左上に「MUSIC SLIDE SHOW MODE3」と表示されます。通常の手順で表示したい静止画のファイルを選択して本体またはリモコンのPLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押してください

2.3 リモコンの機能と操作方法

ボタン名	説明																		
POWER :	本体の電源のON/OFFを切り替えます。本体脇の主電源スイッチがONになっている必要があります。																		
SCR SAVER :	スクリーンセーバーのON/OFFを切り替えます。ONにした場合、5分間非動作の状態が続くとスクリーンセーバーが動作します。																		
COPY :	CFカード上のデータをすべてハードディスクにコピーします。																		
GOTO :	CFカード上のデータを再生するかハードディスク上のデータを再生するかを切り替えます。ハードディスクに複数パーティションがある場合は、その切替も行います。																		
EDIT :	<p>選択したファイルを削除や名前を変更するためのメニューが表示されません。表示されるメニューと動作は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr> <td>DELETE:</td> <td>選択したファイルを削除します。</td> </tr> <tr> <td>RENAME:</td> <td>選択したファイルやフォルダの名前を変更します。矢印ボタンで文字を選択してENTERボタンで文字を決定してゆきます。新しい名前が入力が終わったらAPOINTボタンで確定します。</td> </tr> <tr> <td>PROPERTIES:</td> <td>ファイルの詳細情報を表示します。</td> </tr> <tr> <td>CANCEL:</td> <td>このメニューを中止します。</td> </tr> </table>	DELETE:	選択したファイルを削除します。	RENAME:	選択したファイルやフォルダの名前を変更します。矢印ボタンで文字を選択してENTERボタンで文字を決定してゆきます。新しい名前が入力が終わったらAPOINTボタンで確定します。	PROPERTIES:	ファイルの詳細情報を表示します。	CANCEL:	このメニューを中止します。										
DELETE:	選択したファイルを削除します。																		
RENAME:	選択したファイルやフォルダの名前を変更します。矢印ボタンで文字を選択してENTERボタンで文字を決定してゆきます。新しい名前が入力が終わったらAPOINTボタンで確定します。																		
PROPERTIES:	ファイルの詳細情報を表示します。																		
CANCEL:	このメニューを中止します。																		
SETUP :	<p>各種設定を行います。</p> <p>TV DISPLAY: 表示させるTV出力の設定を行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>NORMAL/PS:</td> <td>パンスキャンで表示します。(4:3のTVで16:9の映像上下いっぱいのサイズで表示します。映像の左右が画面に表示されません。)</td> </tr> <tr> <td>NORMAL/LB:</td> <td>レターボックスで表示します。(4:3のTVで16:9の映像を左右いっぱいのサイズで表示します。画面の上下の余った部分は黒い帯が表示されます。)</td> </tr> <tr> <td>Wide:</td> <td>16:9のTVで16:9の映像を表示させる場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>TV TYPE: TVの方式(NTSCとPAL)を切り替えます。</p> <table border="1"> <tr> <td>MULTI:</td> <td>自動で方式が選択されます。</td> </tr> <tr> <td>NTSC:</td> <td>NTSC方式のTV(日本、アメリカ、韓国などで使われている方式)</td> </tr> <tr> <td>PAL:</td> <td>PAL形式のTV(中国、ドイツ、アフリカなどで使われている方式)</td> </tr> </table> <p>PIC MODE: 画像の表示モードを切り替えます。</p> <table border="1"> <tr> <td>AUTO:</td> <td>Hi-resとFlickerlessを自動で選択します。</td> </tr> <tr> <td>Hi-res:</td> <td>高解像度で表示します。</td> </tr> <tr> <td>Flickerless:</td> <td>低解像度でちらつきのない表示します。</td> </tr> </table>	NORMAL/PS:	パンスキャンで表示します。(4:3のTVで16:9の映像上下いっぱいのサイズで表示します。映像の左右が画面に表示されません。)	NORMAL/LB:	レターボックスで表示します。(4:3のTVで16:9の映像を左右いっぱいのサイズで表示します。画面の上下の余った部分は黒い帯が表示されます。)	Wide:	16:9のTVで16:9の映像を表示させる場合に選択します。	MULTI:	自動で方式が選択されます。	NTSC:	NTSC方式のTV(日本、アメリカ、韓国などで使われている方式)	PAL:	PAL形式のTV(中国、ドイツ、アフリカなどで使われている方式)	AUTO:	Hi-resとFlickerlessを自動で選択します。	Hi-res:	高解像度で表示します。	Flickerless:	低解像度でちらつきのない表示します。
NORMAL/PS:	パンスキャンで表示します。(4:3のTVで16:9の映像上下いっぱいのサイズで表示します。映像の左右が画面に表示されません。)																		
NORMAL/LB:	レターボックスで表示します。(4:3のTVで16:9の映像を左右いっぱいのサイズで表示します。画面の上下の余った部分は黒い帯が表示されます。)																		
Wide:	16:9のTVで16:9の映像を表示させる場合に選択します。																		
MULTI:	自動で方式が選択されます。																		
NTSC:	NTSC方式のTV(日本、アメリカ、韓国などで使われている方式)																		
PAL:	PAL形式のTV(中国、ドイツ、アフリカなどで使われている方式)																		
AUTO:	Hi-resとFlickerlessを自動で選択します。																		
Hi-res:	高解像度で表示します。																		
Flickerless:	低解像度でちらつきのない表示します。																		

	OSD LANG: (この機能は使用できません。) SCRSaver: スクリーンセーバーのON/OFFを切り替えます。ONにした場合、5分間非動作の状態が続くとスクリーンセーバーが動作します。												
方向 :	ファイルリストの画面ではファイルやフォルダ間の移動、メニュー画面ではメニュー項目の移動、プレビュー画面では画像ファイル間の移動を行います。												
ENTER :	方向ボタンで移動したファイルやフォルダメニュー項目などを選択/決定します。ファイルリストでフォルダを選択してENTERボタンを押した場合は、そのフォルダを開きます。ファイルリストで、オーディオ、ビデオ、静止画のファイルを選択してENTERボタンを押した場合は、そのファイルを再生/表示します。												
PREVIEW :	静止画ファイルのプレビューを表示します。同一フォルダ内の静止画最大9枚が小さく表示されます。												
PgUp :	ファイルリストの画面やプレビューの画面で次のページへ進みます。												
PgDo :	ファイルリストの画面やプレビューの画面で前のページへ戻ります。												
VOLUME :	ボリュームを調整します。 (+)ボリュームを大きくします。 (-)ボリュームを小さくします。												
MUTE :	消音。												
STOP :	再生しているオーディオやビデオファイル、静止画の再生を終了します。												
PAUSE :	再生しているオーディオやビデオファイル、静止画の再生を一時停止します。												
PLAY :	ファイルリストで選択されているオーディオ、ビデオ、静止画のファイルを再生します。												
REPEAT :	オーディオファイルとビデオファイルの再生の繰り返しのモードを変更できます。 <table border="1" data-bbox="364 938 994 1257"> <tr> <td>REP-ONE :</td> <td>一つのファイルを繰り返し再生します。</td> </tr> <tr> <td>FOLDER :</td> <td>同一フォルダの中のファイルを順番に一回ずつ再生します。</td> </tr> <tr> <td>FOLDER REP :</td> <td>同一フォルダ内のファイルを順番に再生し続けます。</td> </tr> <tr> <td>DISC :</td> <td>ディスクの中のすべてのファイルを一回ずつ再生します。</td> </tr> <tr> <td>DISC REP :</td> <td>ディスクの中のすべてのファイルを再生し続けます。</td> </tr> <tr> <td>SINGLE :</td> <td>同一フォルダの中のファイルを順番に一回ずつ再生します。</td> </tr> </table>	REP-ONE :	一つのファイルを繰り返し再生します。	FOLDER :	同一フォルダの中のファイルを順番に一回ずつ再生します。	FOLDER REP :	同一フォルダ内のファイルを順番に再生し続けます。	DISC :	ディスクの中のすべてのファイルを一回ずつ再生します。	DISC REP :	ディスクの中のすべてのファイルを再生し続けます。	SINGLE :	同一フォルダの中のファイルを順番に一回ずつ再生します。
REP-ONE :	一つのファイルを繰り返し再生します。												
FOLDER :	同一フォルダの中のファイルを順番に一回ずつ再生します。												
FOLDER REP :	同一フォルダ内のファイルを順番に再生し続けます。												
DISC :	ディスクの中のすべてのファイルを一回ずつ再生します。												
DISC REP :	ディスクの中のすべてのファイルを再生し続けます。												
SINGLE :	同一フォルダの中のファイルを順番に一回ずつ再生します。												
FF :	オーディオやビデオの再生時に早送りをします。 (オーディオファイルの場合は、PUSEボタンで一時停止を行ってから、早送りを行ってください。)												
REW :	オーディオやビデオの再生時に巻き戻しをします。 (オーディオファイルの場合は、PUSEボタンで一時停止を行ってから、巻き戻しを行ってください。)												
NEXT :	オーディオやビデオの再生時に次のファイルに進みます。												

PREW :	オーディオやビデオの再生時に前のファイルに戻ります。						
ZOOM :	静止画の拡大、縮小して表示します。このボタンを押した後に、ZOOM INまたはZOOM OUTボタンを押してください。						
ZOOM IN :	静止画を拡大して表示させます。						
ZOOM OUT :	静止画を縮小して表示させます。						
ROTATE :	静止画を90° ずつ回転して表示させます。						
MIRROR :	静止画を左右反対に表示させます。						
S-MODE :	<p>静止画をスライドショーで再生する場合に、画面切り替え時に効果を変えるかどうかを変更します。</p> <table border="1"> <tr> <td>NONE :</td> <td>効果をかけません</td> </tr> <tr> <td>RAND :</td> <td>効果をランダムに切り替えます</td> </tr> <tr> <td>1-11 :</td> <td>全11種類のうちの1つの効果を選択します。</td> </tr> </table> <p>※スライドショー： 複数の静止画を一定間隔で切替えて表示していく機能です。</p>	NONE :	効果をかけません	RAND :	効果をランダムに切り替えます	1-11 :	全11種類のうちの1つの効果を選択します。
NONE :	効果をかけません						
RAND :	効果をランダムに切り替えます						
1-11 :	全11種類のうちの1つの効果を選択します。						
S-TIME :	静止画をスライドショーで表示する場合の切り替えの時間の設定。また、スライドショーをOFFにして、1枚の静止画を表示させたままにすることもできます。						
S-MUSIC :	<p>画像を再生時にバックグラウンドミュージックを設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>Mode1 :</td> <td>同一フォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルと静止画ファイルの切り替えは独立しています。オーディオファイルと静止画のファイルは同じフォルダにある必要があります。これらのファイルのあるフォルダを表示し、S-MUSICボタンでMode1を選択し、ENTERボタンを押します。</td> </tr> <tr> <td>Mode2 :</td> <td>異なるフォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルは1つのファイルが繰り返して再生されます。静止画ファイルの切り替えは独立しています。再生したいオーディオファイルのあるフォルダに移動して、オーディオファイルを選択し、APOINTボタンを押します。次に、静止画ファイルのあるフォルダに移動して、ENTERボタンを押します。</td> </tr> <tr> <td>Mode3 :</td> <td>同一フォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルと静止画ファイルの切り替えは同期しています。オーディオファイルと静止画のファイルは同じフォルダにある必要があります。S-MUSICボタンでMode3を選択し、ENTERボタンを押します</td> </tr> </table>	Mode1 :	同一フォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルと静止画ファイルの切り替えは独立しています。オーディオファイルと静止画のファイルは同じフォルダにある必要があります。これらのファイルのあるフォルダを表示し、S-MUSICボタンでMode1を選択し、ENTERボタンを押します。	Mode2 :	異なるフォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルは1つのファイルが繰り返して再生されます。静止画ファイルの切り替えは独立しています。再生したいオーディオファイルのあるフォルダに移動して、オーディオファイルを選択し、APOINTボタンを押します。次に、静止画ファイルのあるフォルダに移動して、ENTERボタンを押します。	Mode3 :	同一フォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルと静止画ファイルの切り替えは同期しています。オーディオファイルと静止画のファイルは同じフォルダにある必要があります。S-MUSICボタンでMode3を選択し、ENTERボタンを押します
Mode1 :	同一フォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルと静止画ファイルの切り替えは独立しています。オーディオファイルと静止画のファイルは同じフォルダにある必要があります。これらのファイルのあるフォルダを表示し、S-MUSICボタンでMode1を選択し、ENTERボタンを押します。						
Mode2 :	異なるフォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルは1つのファイルが繰り返して再生されます。静止画ファイルの切り替えは独立しています。再生したいオーディオファイルのあるフォルダに移動して、オーディオファイルを選択し、APOINTボタンを押します。次に、静止画ファイルのあるフォルダに移動して、ENTERボタンを押します。						
Mode3 :	同一フォルダ内の、オーディオファイルと静止画ファイルを同時に、再生します。オーディオファイルと静止画ファイルの切り替えは同期しています。オーディオファイルと静止画のファイルは同じフォルダにある必要があります。S-MUSICボタンでMode3を選択し、ENTERボタンを押します						

2.4 本体のボタンの説明

ボタン名	説明
POWER :	本体の電源のON/OFFを切り替えます。本体脇の主電源スイッチがONになっている必要があります。

GOTO :	CFカード上のデータを再生するかハードディスク上のデータを再生するかを切り替えます。ハードディスクに複数パーティションがある場合は、その切替も行います。
方向ボタン :	ファイルリストの画面ではファイルやフォルダ間の移動、メニュー画面ではメニュー項目の移動、プレビュー画面では画像ファイル間の移動を行います。
PLAY :	方向ボタンで移動したファイルやフォルダメニュー項目などを選択/決定します。ファイルリストでフォルダを選択してENTERボタンを押した場合は、そのフォルダを開きます。ファイルリストで、オーディオ、ビデオ、静止画のファイルを選択してENTERボタンを押した場合は、そのファイルを再生/表示します。
STOP :	再生しているオーディオやビデオファイル、静止画の再生を終了します。
CF>HDD :	CFカード上のデータをすべてハードディスクにコピーします。

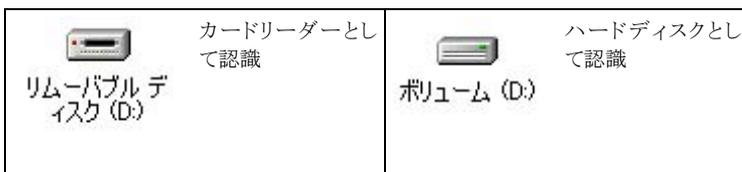
第3章 パソコンと接続して使用する

パソコンに接続して使用する場合、以下のことにご注意ください。

- Windows98SEの場合は、ドライバをインストールする必要があります。
- CFカードを取り付けてパソコンに接続した場合は、カードリーダーとして認識されます。ハードディスクとして認識させたい場合は、一度パソコンから取り外して、CFカードを抜き、再度パソコンに接続します。CFカードを取り付けずに接続した場合はハードディスクとして認識されます。
- 本製品に新しい2.5インチハードディスクを取り付けた場合には、最初にパソコンに接続したときにハードディスクをFAT32形式でフォーマットする必要があります。Windows98SEやMeの場合はFdiskコマンドでパーティションを作成してフォーマットを行います。Windows2000やWindows XPの場合はコントロールパネルのコンピュータの管理のディスクの管理でパーティション作成とフォーマットを行います。NTFS形式でフォーマットしないでください。作成可能なFAT32のサイズは32GB以下になります。これ以上のサイズのハードディスクの場合は、パーティションを複数に分けてください。MacOS Xの場合は、ディスクユーティリティでフォーマットします。各OSでのフォーマットの手順につきましてはOSのマニュアルやヘルプ等をご参照ください。
- 本製品は日本語のファイル名や日本語のフォルダ名のフォルダにあるファイルのテレビ上の再生に対応していません。再生するファイルにつきましては、**フォルダ名やファイル名に日本語を使用しないで下さい。**

3.1 Windows Me、2000、XP との接続

1. パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
2. 起動後、本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
3. 本製品の電源を入れると、自動的に認識され、使用可能になります。

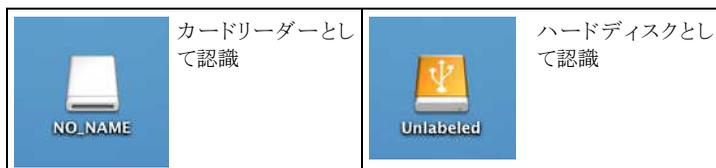


3.2 Windows 98 との接続

1. パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
2. 弊社ホームページよりドライバをダウンロードしてください
http://www.system-talks.co.jp/download/usb2/mv1/mv1_download.htm
3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、画面の表示に従って、ドライバをインストールしてください。
4. 完了後、指示に従い、再起動します。
5. 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
6. 本製品の電源を入れると、自動的に認識され、使用可能になります。

3.3 Macintosh (MacOS X)との接続

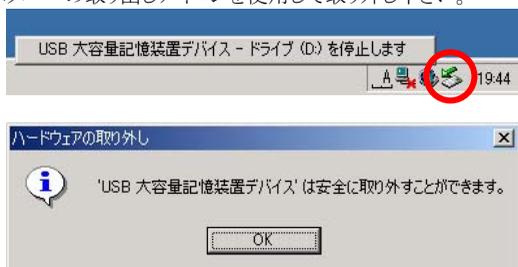
1. Macintoshの電源を入れ、起動します。
2. 起動後、本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
3. 本製品の電源を入れると、アイコンが表示され、使用可能になります。



3.4 CF カードの取り出し、ハードディスクの取り外し操作

Windows

必ずアクセスランプがオレンジに点灯していないことを確認し取り出してください。
(アクセスランプは、電源Onの状態が緑で、アクセス中はオレンジです。)
タスクバーの取り出しアイコンを使用して取り外し下さい。



Macintosh

取り出す場合必ずアクセスランプがオレンジに点灯していないのを確認し取り出してください。
(アクセスランプは、電源Onの状態が赤で、アクセス中はオレンジです。)
リムーバブルディスクのアイコンをごみ箱に捨て取り外してください。

第4章

4.1 追記

- ・ CFカードからHDDに直接コピーをした場合、“ Bank ”というフォルダが作成され、そこに保存されます。
- ・ (MJPEG) AVI再生は、解像度が320×240の標準のフォーマットのみをサポートです。
- ・ パソコン接続時は、POWERボタン以外の本体ボタンの操作が無効となります。
- ・ Windows98SEでお使いになれる場合、弊社ホームページからドライバをダウンロードして頂く必要があります。
- ・ 日本語ファイル名、フォルダ名がある場合TVでは正常に表示できない恐れがあります。
- ・ ファイルの拡張子が4文字の拡張子は、使用できません。
- ・ ファイルリストの画面でのファイルの並び順は、ファイルの作成日時の順番になります。またファイルが再生/表示される順番もこの順番に従います。
- ・ Macintoshでのサポートは、MacOS 10.2.6以降となります。
- ・ TVへ表示させる場合は必ず、USBケーブルを抜いてお使いください。
- ・ 本製品で設定したファイルの表示情報は、電源スイッチを切ることでデフォルトの状態に戻ります。

ご注意

- ・本製品、および付属品(本取扱説明書を含みます)は、お買上げいただきましたお客様一人にライセンスされます。
- ・お客様が、本製品および付属品を第三者に転売、譲渡した場合は、お客様および前記の第三者は本製品の保証(有償ならびに無償)、サポートを受ける権利を消失します。
- ・本書およびインストール CD、FD の内容の一部または全部および印刷したものを無断で、印刷、複製、転載、アップロード、翻訳、販売、譲渡することを禁じます。
- ・お客様は、本製品を使用する目的で、取扱説明ファイルを印刷することができます。
- ・取扱説明ファイルの内容に関して将来予告なしに変更することがあります。
- ・取扱説明ファイルで説明する製品の外観や仕様は、実際とは異なる場合があります。
- ・不適切な組み込み、取扱により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的の損害につきましては、一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- ・重要なデータに関しては、バックアップを行ってください。本製品によるデータの破損、消滅につきましては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、前項に関わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする機器や設備への組み込みや、制御等の仕様は意図されていませんので、このような設備、機器、制御システムへ本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、いかなる責任も負いかねます。

安全のために

本製品を取扱う前に、この注意事項を必ずお読みください。

記載事項の内容が原因による、製品・付属品、接続機器等の故障、破損、不具合、データの消失、人体への影響(負傷、障害、死亡)については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご留意ください。

記載事項を熟読の上、常識範囲内での使用をお守りください。

- ・本体・添付品の角、金属部分、凹凸部分等で負傷しないよう、取扱は注意してください。また、本来の目的以外の使用やマニュアルの記載内容以外の使用は、絶対にしないでください。
- ・本体、梱包材、添付品は、食べ物ではありませんので、絶対に口にしたり食べないように注意してください。設置、保管は子供やペット等の手の届かない場所にしてください。
- ・梱包箱や梱包材、マニュアルの取扱いの際にも、紙で手を切る等の怪我をしないようにご注意ください。
- ・本機を不安定な場所に設置・保管しないでください。
- ・マニュアルは、いつでも使用できるように保管しておいてください。
- ・高温多湿、湿度差の激しい場所や煙草の煙、ホコリや振動の激しい場所、薬品の噴霧されている場所等でのご使用は避けてください。また、絶対に液体をかけないでください。火災や感電、故障の危険があります。
- ・いかなる理由があっても本機、付属品を絶対に分解しないでください。けがや感電の危険があります。
- ・本機の設置は、マニュアルで定められた置き方を守ってください。
- ・静電気は、全ての機器の故障原因になりますのでご注意ください。あらかじめ他の金属部分等(水道蛇口等)に触れて体内の静電気を放電しておいてください。(ガス管等の発火する危険性のある物は不可)
- ・基板面を直接手で触れないようにしてください。
- ・強力な磁気を発生する機器や、磁石等を接触させたり、磁気の近くでのご使用、保管は避けてください。
- ・雷が鳴っているときや雷が鳴りそうな時は、全ての電源を切ってください。落雷による影響で接続しているパソコンが暴走したり、停電による電頼供給の停止で、データが破壊される危険があります。